

焼酎原料用かんしょ育苗こよみ

平成 21 年産版

月旬 作型	月旬	1 2		1		2		3		4		5		6	
		上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中
トンネル、 ハウスによ る育苗	主要 作業														

土壌消毒、堆肥散布
伏込み
採苗

品 種：コガネセンガン

1. 苗床の準備
 - 肥沃で排水が良く、水利や管理作業に便利な圃場を選定し、保温のためトンネル、ハウスを準備する。
 - 伏込みの1ヶ月前までにダゾメット粉粒剤（バスアミド細粒剤，ガスタード細粒剤）による土壌消毒を行い、完熟堆肥を施用する。

2. 種いもの準備

- 種いものは品種固有の色と型をそなえた無病なものを選ぶ
種いも 1個重 200 ~ 300g × 420個 / 10a を貯蔵 1割以内の損失で、2回採苗分充足
- 良質苗を確保するため、3年に1回種子いも更新を行う
- 黒斑病防除のためトップジンM水和剤200倍液に20分間浸漬し、種いもの消毒を行う
消毒後に風乾し、薬液が乾いてから伏込む

農薬使用基準	作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数
トップジンM水和剤	かんしょ	黒斑病	200(～500倍)	植付前	1回

使用方法 20(～30)分間種いも浸漬 備考 種いもは消毒後風乾して伏せこむ。消毒後の種いもは食用に供さないこと。

採苗数と苗3,000本(10a植付分)を得るための種いも伏込み個数，種いも伏込み密度と苗床面積

1個当たり 萌芽数 (本)	採苗本数(本/個)		採苗 間隔	種いも伏込み個数		種いも伏 込み密度	㎡当たり 伏込み個数	必要な苗床面積	
	1回目	2回以降		2回採苗 の場合	3回採苗 の場合			2回 採苗	3回 採苗
10	5	3	10	375 (95kg)	275 (70kg)	20×20 cm	25	15 ㎡	11 ㎡

()内は1個重を250gとした10a当たり種いも重

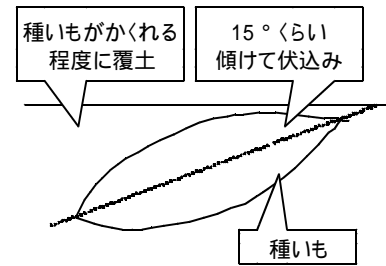
* 農業技術体系に基づき

3. 苗床の施肥

㎡当たり施用量

	元 肥	追 肥
完熟堆肥	10～15kg	
野菜1号	300g	
(またはBB464号)	(200g)	
硫 安		50g

* 農業技術体系より

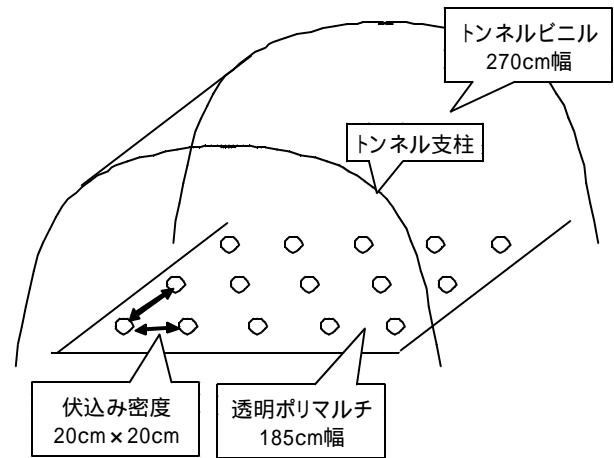


4. 種いもの伏込み時期

- 種いもの伏込みから1回目の採苗までは、3月以降の伏込みでは65日程度を要し、5月中旬から5月下旬に植付けする場合は、3月10日前後に伏込みをする。

5. 苗床の管理

- 温度
 - 伏込み10日前に十分灌水し、透明マルチ(0.02mm)で覆い床温をあげておく。
 - 伏込み直後から萌芽まで 床温 28～33 温度計を設置
 - 種いもの伏込み後7～10日間で萌芽する。気温が上がり始めてからは、日焼け防止のため除去する。
 - 萌芽後は昼間20～25、夜間15をめぐりに管理する。
 - 冷え込みのひどい夜は4以下に下がらないように保温に努める。
 - 外気温が上昇した場合はトンネルやハウスのすそをあけ十分に換気を行う。
 - 灌水と追肥
 - 伏込み後は十分灌水し、発芽促進のため、透明マルチで覆う。萌芽が見られたら、ただちに透明マルチを除去する
 - 萌芽後は適宜灌水(床面が乾かない程度)するが、灌水は温暖な日の午前中に行う。灌水は、十分な量をしっかり行なう。(少しずつ数多く行なわない)
 - 追肥は、生育状況に応じて1㎡当たり窒素10g(硫安では50g)を追肥する。
- 苗の順化
 - 採苗の7～10日程度前から換気を多くして外気にならし、灌水を徐々に減らして丈夫な苗に仕上げる。
- 除草
 - 苗床に生えた雑草は、早めにとる。



6. 採苗

- 採苗は植え付け当日から前日に行う。苗の大きさは、節数で6～8節(長さで25～30cm程)を目安とする。節数があれば、やや短くても採苗し、早めに植えつける。
- 採苗は、苗の基部を2～3節(5～6cm)残して切る。

7. 採苗後の管理

- 採苗後は、苗床に十分な追肥、灌水を行い、2番つるの伸長促進を図る。